



29回目を迎えるコンテンポラリーダンスの祭典「ヨコハマダンスコレクション」

コンペティション受賞振付家決定！

世界的な振付コンクールの日本プラットフォームとして1996年にはじまったコンペティションには、社会と他者に向き合い、身体と表現に向き合う振付家500組以上がファイナリストとして参加し、国内外で多彩な活動を繰り広げています。振付家やダンサー等が構成、演出、技術のみならず新たな表現の可能性に挑む場であり、創造性に基づく対話・交流のプラットフォームです。

今回は2023年4月17日から6月16日まで公募を行い、14の国・地域から計166組の応募がありました。映像・書類審査会を経て決定した18組(コンペティションI:8組、コンペティションII:10名)が、11月30日~12月3日の間に上演審査にのぞみ、以下の通り各賞の受賞者を決定いたしました。



Photo: Sugawara Kota

【コンペティション I】

- 審査員賞
高 瑞貴 『doldrums』

- 若手振付家のための在日フランス大使館賞・ダンス リフレクションズ by ヴァン クリーフ&アーベル賞
大森 瑤子 『Instant』

- MASDANZA 賞
ジ・ジエ (中国) 『Nowhere to turn』

- 城崎国際アートセンター (KIAC) 奨励賞
モハマド・ズルカーナイン・ビン・ズベル (マレーシア) 『Interchange』
高 瑞貴 『doldrums』

■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞
高 瑞貴 『doldrums』

■ 穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞
大森 瑤子 『Instant』

■ 奨励賞
パク・スヨル (韓国) 『dating abuse』

【コンペティションII 新人振付家部門】

■ 最優秀新人賞
高橋 春香 『EAT』

■ アーキタンツ・アーティスト・サポート賞
浦島 優奈 『My habit』

■ ベストダンサー賞
仙石 孝太朗 『is not stagnation』
平田 栞 『machinegun person』

【コンペティションI 審査員】

梅田宏明 (振付家、ダンサー、ビジュアルアーティスト、横浜赤レンガ倉庫1号館振付家)

岡見さえ (舞踊評論家、共立女子大学文芸学部准教授)

北村明子 (振付家、ダンサー、信州大学人文学部教授)

近藤良平 (コンドルズ主宰、振付家、ダンサー、彩の国さいたま芸術劇場 芸術監督)

浜野文雄 (新書館「ダンスマガジン」編集委員)

サンソン・シルヴァン (在日フランス大使館/アンスティチュ・フランセ 文化担当官)

シモン・ホレンベルジュ (横浜日仏学院 院長)

デルフィーヌ・ヴュアトゥ (フランス国立ダンスセンター (CND) 制作・配給ディレクター)

セルジュ・ローラン (ヴァン クリーフ&アーペル ダンス&文化プログラムマネージャー)

※MASDANZA 賞、城崎国際アートセンター (KIAC) 奨励賞、アーキタンツ・アーティスト・サポート賞、穂の国とよはし芸術劇場 PLAT 賞の審査員は、各団体の専門家が務めました。

【コンペティションII 審査員】

ヴィヴィアン佐藤 (美術家)

加藤弓奈 (急な坂スタジオ ディレクター)

スズキ拓朗 (CHAIroiPLIN 主宰、ダンサー・振付家・演出家)

浜野文雄 (新書館「ダンスマガジン」編集委員)

アーキタンツ・アーティスト・サポート賞の審査員は、団体の専門家が務めました。